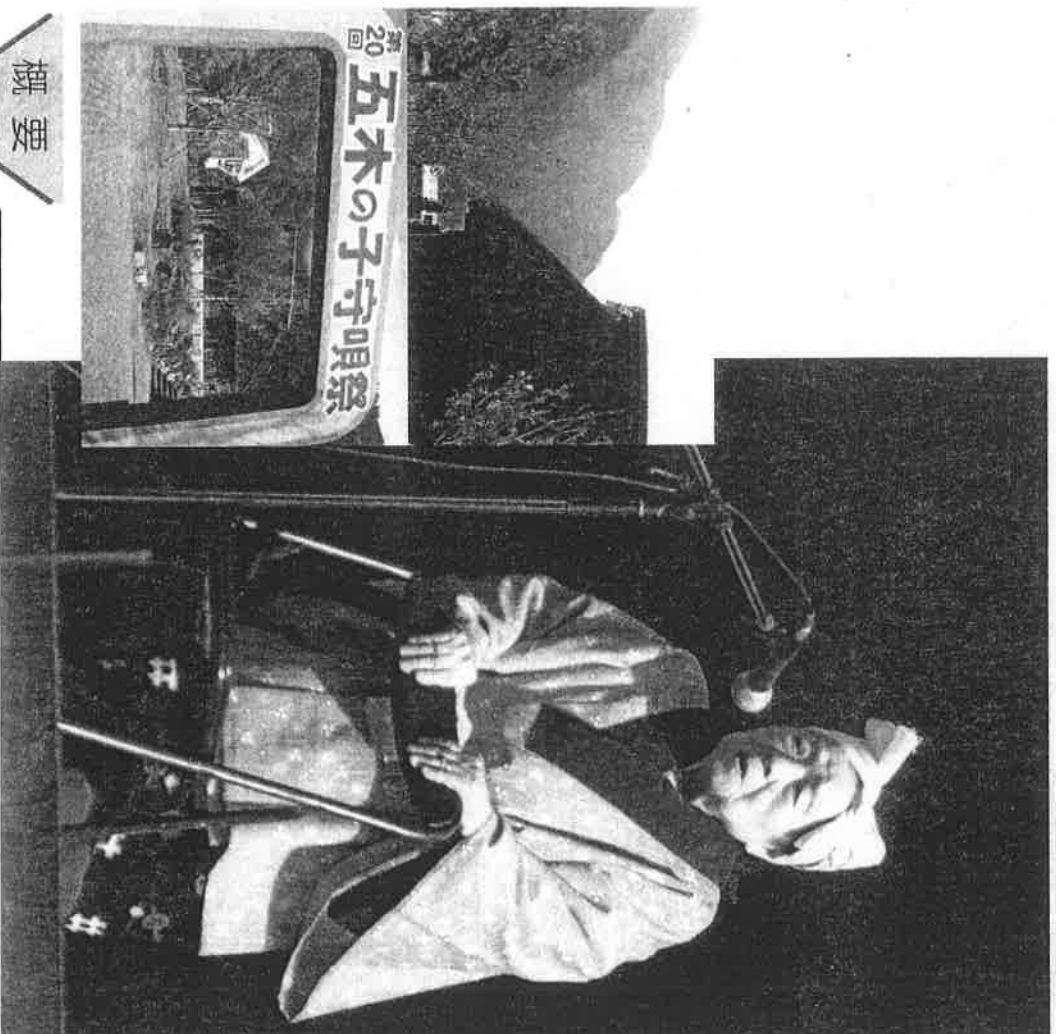


堂坂ヨシ子



概要

氏名 堂坂ヨシ子 (どうざか・よしこ)
住所 球磨郡五木村甲2672番地の14
主な活動地 五木村内

地域文化活動部門

堂坂ヨシ子氏は、五木地域で古くから歌い継がれてきた「正調・五木の子守唄」を今日に伝える伝承者です。大正六年（一九一七年）三月十日の生まれ。

「正調・五木の子守唄」は、子守奉公に出された娘たちの間で歌われ口承で受け継がれてきたもので、哀調を帯びた旋律と七十種余にも及ぶ歌詞が特色となっております。今日、全国的に広く知られている「五木の子守唄」は、この「正調・五木の子守唄」を原形として、第二次大戦後に作曲家の古関裕而氏によって三拍子の曲として新たに採譜・編曲されたものです。

堂坂氏は、子どもの頃聞き覚えた「正調・五木の子守唄」を五木地域の催しなどで長年にわたって披露される一方、全国規模のイベントへの出演等を通じて全国に発信していきました。

主な活動としては、昭和五十三年に「第二回日本民謡まつり」に招待されて東京の国立劇場で歌唱を披露されたのをはじめ、各地で開催されてきた「全国子守唄サミット」にも第一回から第九回まで連続して出演されています。また昭和六十年にはNHKラジオ番組「九州のうた」で五木村の風景をバックに堂坂氏の唄が放映されました。

哀感あふれる歌声は村を訪れる多くの観光客を魅了することもに、地元の子どまたちへの歌唱指導を通じて次世代への伝承にも尽力されており、その活動は伝統文化の継承と普及に大きく寄与しています。

これまでの活動歴

昭和三十七年	第一回 五木村産業祭出演
昭和四十二年	第二回 五木村産業祭出演
昭和五十三年	文化庁芸術祭特別公演「第二回日本民謡まつり」（東京）に招待出演し国立劇場の大劇場で歌唱披露
昭和六十年	NHKテレビの歌番組「九州のうた」で五木村の風景をバックに堂坂氏の唄を放映
昭和六十一年	第一回五木の子守唄祭出演 以後、第二十回（平成二十年）まで 毎回出演
昭和六十二年	全国で巡回開催される 「全国子守唄サミット」に第一回から第九回（平成八年）まで連続出演 第四回球磨・ひとよし民謡と踊りの 祭典に出演
平成元年	